

**Special
Olympics**
Nippon



知的障害のある人にスポーツを

vol.

32

Rainbow

公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 NEWS

スペシャルオリンピックス (SO) とは 知的障害のある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。

2018年 第7回
スペシャルオリンピックス日本
夏季ナショナルゲーム

愛知

超える歓び。





公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事長

大会会長 有森裕子

今大会は天候にも恵まれ、愛知県内各競技会場にて全13競技を無事に開催することができました。全国47地区組織から集まったアスリートたちは今大会のスローガンである「超える歓び。」のもと、日頃の練習の成果を大いに発揮し、自らの目標に目一杯チャレンジできた大会となったことでしょう。アスリートたちが競技に集中できたのも、地元愛知を中心に全国各地からお越しいただいたボランティアの方々、支援企業・団体の皆様のご協力のおかげです。皆様のご協力に本当に感謝しております。来年はスペシャルオリンピックス日本(以下、SON)が設立して25周年の節目の年となります。より一層スペシャルオリンピックスの活動の輪を広げて参りますので、引き続き温かいご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



大会概要	大会名称	2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知(略称:スペシャルオリンピックス2018愛知)
	大会スローガン	超える歓び。
	開催地	愛知県(名古屋市、豊田市、刈谷市、日進市、大治町)
	開催期間	2018年9月22日(土)～24日(月・祝)3日間
	参加地区数	47地区組織(都道府県)
	参加者数	アスリート 996名 / パートナー 4名 / 役員・コーチ 602名 / ボランティア 延べ3,801名
	実施競技	13競技
		競泳、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボウリング、馬術、サッカー、ゴルフ、体操競技、卓球、テニス、バレーボール、フライングディスク
	式典会場	開会式:日本ガイシホール 閉会式:名古屋国際会議場 センチュリーホール
	競技会場	愛知学院大学 AGUスポーツセンター、パロマ瑞穂スタジアム、 刈谷市総合運動公園 ウイングアリーナ刈谷、 スカイホール豊田(豊田市総合体育館)、名古屋グランドボウル、 学校法人同朋学園 大治馬場、トヨタスポーツセンター、鳴海カントリークラブ、 名古屋市東山公園テニスセンター

2018年 第7回 スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・愛知



公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・愛知 理事長

大会実行委員長 鈴木盈宏

SON・愛知が主管した大会でしたが、想像以上の困難の連続で、大会事務局の過酷な努力と各部会の実行力、関係役員&アドバイザーのご指導、そして SONの人的応援などで乗り切ることができました。また大会開催にあたり、行政、各種団体、各企業、ボランティアの皆様に支えていただいたことに厚くお礼を申し上げます。今大会を通してスペシャルオリンピックスの知名度が上がったことはうれしい限りです。これを機に多くの皆様にスペシャルオリンピックスの輪が広がることを願っております。そして何よりも今大会において「素晴らしいパフォーマンスと感動」を贈ってくれた、全てのアスリートに心から感謝します。本当にありがとうございました。





競泳

会場: 愛知学院大学
AGUスポーツセンター
参加アスリート数: 179名

参加アスリート感想

予選で隣の選手に負けそうになってあせって失格になってしまいました。“明日は自分のペースでね” コーチが励ましてくれました。決勝は自分のペースを思い泳ぎりました。やればできる、自分に自信ができました。私にとって大会は忘れられない思い出です。



黒田 瞳子 (SON・島根)



陸上競技

会場: パロマ瑞穂スタジアム
参加アスリート数: 194名

参加アスリート感想

私は、陸上競技の 5000m とリレーに参加しました。5000m は競技場のトラックを何度も走るたびに、とても辛くて何度もイヤになる時もありました。そのたび、みんなの応援の声が聞こえて頑張る走ることができました。この大会のスローガンである、「超える歓び。」になり、ナショナルゲームに参加してとても良い思い出になりました。



小川 真輝 (SON・愛知)



バドミントン

会場: 刈谷市総合運動公園
ウイングアリーナ刈谷 サブアリーナ
参加アスリート数: 36名

参加アスリート感想

僕の目標は悔いの残らない試合をすることでした。そのために相手に返されないように、しっかりスマッシュを狙うことを気をつけました。おかげで全勝して金メダルを取りとてもうれしかったです。この達成する喜びを大切に日々のプログラムを頑張っていきたいです。



佐々木 永遠 (SON・新潟)





バスケットボール

会場: スカイホール豊田
(豊田市総合体育館)メインホール
参加アスリート数: 137名

参加アスリート感想

愛知大会の目標は、笑顔でシュートを決めることでした。1本決められて良かったです。山口と滋賀のアスリートとボランティアの人達と仲良くできて嬉しかったです。大会は笑顔で、銀メダル重かったです。目標は達成しました。大切な時間をありがとうございました。



野田 友弥 (SON・東京)



ボウリング

会場: 名古屋グランドボウル
参加アスリート数: 174名

参加アスリート感想

今回僕は、ナショナルゲームに初めて出場しました。大会期間中に各地区のアスリートやコーチやボランティアさんと話をすることができました。とても充実した大会でしたがアブダビの選手団には選ばれず残念でした。次回は、選手になれるよう世界大会に向けて頑張ります。



杉山 翔太 (SON・愛知)



馬術

会場: 学校法人同朋学園 大治馬場
参加アスリート数: 14名

参加アスリート感想

今回の馬術競技は自分にとって新たな挑戦でした。スタートする直前は、緊張感が溢れて体が震えていました。けど、予選&決勝戦では、気持ちを上手くコントロールしたので、順調に挑むことができました。まさか良い結果を出せるとは思ってもなかったなので非常に嬉しかったです。



中井 久美子 (SON・山梨)





サッカー

会場: トヨタスポーツセンター
陸上競技場
参加アスリート数: 47名

参加アスリート感想

僕はサッカーに参加しました。コーチと話し目標を 6ゴールにしました。チームのみんなが一生懸命ボールを繋ぎ、僕は絶対シュートを決める!と必死でプレイし 6ゴールを決め、チームは 15-0で勝利しました。目標達成した喜びとチームで得た勝利は最高でした。



小野寺 陽成 (SON・埼玉)



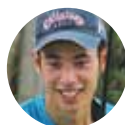
ゴルフ

会場: 鳴海カントリークラブ
参加アスリート数: 13名

参加アスリート感想

沖縄から飛行機と電車、地下鉄、バスで名古屋までやってきました。大きい会場での開会式のアトラクションがとても、もりあがって楽しかったです。また、今回ぼくが参加した、ゴルフでは、コーチやボランティアさんがたくさんおうえんしてくれていたのがうれしかったです。そして2位になって、銀メダルをもらってとても

うれしかったです。次の大会では金メダルをめざしたいです。



金城 海斗 (SON・沖縄)



体操競技

会場: スカイホール豊田
(豊田市総合体育館) サブホール
参加アスリート数: 16名

参加アスリート感想

愛知での全国大会に出場しました。体操競技で、銀メダルを 2個貰って、嬉しかったです。ボランティアのお兄さん、お姉さん達が優しく楽しかったです。本当にお世話になり、ありがとうございました。お友達とも楽しく過ごせました。みんなと、また会えるように、これからも頑張ります。



山長 誠 (SON・熊本)





卓球

会場: トヨタスポーツセンター
第1体育館
参加アスリート数: 80名

参加アスリート感想

予選リーグでは緊張してサーブやレシーブのミスが多くてなかなか勝てませんでした。決勝リーグでは落ち着いてスマッシュを強く打てるように気をつけてプレーしたら、予選リーグより多く勝って銅メダルをもらうことができてとてもうれしかったです。



山口真代(SON・鳥取)



テニス

会場: 名古屋市
東山公園テニスセンター
参加アスリート数: 55名

参加アスリート感想

テニスが大好きです。でも、今まで同じディビジョンの女子アスリートと試合をしたことがなく、とても不安でした。今回初めて女子と戦い、憧れのメダルを取ることができました。私に勇気を与えてくれた多くのスタッフさんとダルさん、ありがとうございました。



菊川 カレン(SON・兵庫)



バレーボール

会場: 刈谷市総合運動公園
ウィングアリーナ刈谷 メインアリーナ
参加アスリート数: 38名

参加アスリート感想

緊張しないで、いつもの練習通りにすることを目標にがんばりました。個人技能競技で金メダルをとれたのはうれしかったです。移動でのつかれはありましたが、名古屋に行けてとてもたのしかったです。また、機会があれば大会に出たいと思います。



村上 顕子(SON・宮城)





フライングディスク

会場: パロマ瑞穂スタジアム
参加アスリート数: 13名

参加アスリート感想

投げる前はいつも下を見て集中します。会場はとても広く、たくさんの人がいたのでかなり緊張して、いつもより長く集中しました。目標としていた5枚目が入った時はとても嬉しかったです。メダルは思ったより重く、メダルを貰った実感が湧いてきました。



佐々木 宏行 (SON・秋田)



ユニファイド スポーツ® 体験プログラム

実施種目: フライングディスク、SOボッチャ
会場: トヨタスポーツセンター
参加アスリート数: 24名

スペシャルオリンピックスのプログラムに参加したことがない知的障害のある人、ない人を対象にSOボッチャ、フライングディスクをレクリエーション形式で実施。楽しみながら障害者への理解とユニファイドスポーツ®の良さを体験してもらいました。



ユニファイド スポーツ® デモンストレーション

実施種目: バドミントン(ダブルス)、バレーボール、バスケットボール、馬術(リレー形式)
会場: 刈谷市総合運動公園 ウイングアリーナ刈谷、他2会場
参加者: 233名

出場アスリートとボランティアがパートナーとなり、バドミントンのダブルスや馬術のリレーなど知的障害のある人となない人がチームを作り、ユニファイドスポーツ®を体験して頂きました。



ヘルシー・アスリート® プログラム (HAP)

会場: 日本ガイシホール、スカイホール豊田 参加者: 575名

大会期間中に知的障害のある人の健康増進や競技能力の向上を目的として 6部門の無料の健診プログラムを行いました。医療関係者や多くのボランティアのご協力のもと、大会参加アスリートだけでなく、多くの知的障害のある方々が受診されました。この集約した健診データは知的障害のある人々の健康状態や医学的な問題を把握し、医学会への提言を行うなど医療向上に役立てられます。



ヤングアスリート™ プログラム

会場: 刈谷市総合運動公園 ウイングアリーナ刈谷
参加者: 9名

2歳半から 7歳の知的障害児を対象にしたスポーツと遊びを融合させたユニークな活動。今大会では地元の教育機関、療育機関との連携を図りながらデモンストレーションを行いました。



モーター・アクティビティーズ・ トレーニング・プログラム (MATP)

会場: スカイホール豊田
参加者: 20名

あらゆる知的障害のある人を受け入れる目的で、技術、あるいは機能面においてスペシャルオリンピック公式競技に参加できないアスリートのために考案されたプログラムです。デモンストレーションとして「動き・機敏性、器用さ」など7つの動きを取り入れたレクリエーションを行いました。



ファミリー・ボランティア 交流会

会場: 刈谷市産業振興センター あいおいホール
参加者: ファミリー、ボランティア、選手団以外のアスリート計 349名

全国より参加されるファミリー、ボランティアの皆さんをおもてなし。アトラクションや情報交換などで親睦を深める場となりました。また、スペシャルオリンピック日本ドリームサポーターの安藤美姫さん、小塚崇彦さんも駆け付け、「Q&Aコーナー」が行われました。





安藤美姫さん

スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター /2006年トリノ五輪、2010年バンクーバー五輪 フィギュアスケート出場

参加する皆さんの温かさに触れることができるのがスペシャルオリンピックスの大きな魅力です。この大会には開会式から閉会式まで参加させていただき、競技に懸命に取り組むアスリートを支えるボランティアやファミリーの素敵な笑顔を見て、心温まる瞬間がたくさんありました！スポーツをする上で結果や順位を競うことはとても大切なことです。でも、スポーツの魅力はそれだけじゃない。「純粋に楽しむこと」や「人と人を繋ぐこと」、そんなスポーツの魅力を本大会で再発見することができました。



小塚崇彦さん

スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター /2010年バンクーバー五輪 フィギュアスケート出場

多くの試合を応援し、様々な経験ができた大会で、“スポーツっていいな”と思う瞬間がたくさんありました。表彰プレゼンターとしてメダルを授与させていただいたのですが、メダルを取れず悔しい思いをしているはずのアスリートが、一緒に戦った仲間や表彰されている姿をリスペクトをもって讃えている姿を見て、感動しました。私自身もスポーツを通じて得られた歓びを思い出す機会にもなり、充実した3日間になりました。



森理世さん

スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター /2007年ミス ユニバース世界大会優勝

全国から約1,000名のアスリートが集結した本大会の開会式は本当に華やかで、会場はアスリートの笑顔で溢れていました。ドリームサポーターとして10年間スペシャルオリンピックスの活動を応援させていただいていますが、活動に携わせていただくたびに、夢を追いかける素晴らしさを、ひたむきに取り組むことの美しさをアスリート達から教えてもらっています。今後も多くの方にスペシャルオリンピックスの魅力を知ってもらえるよう、全力で応援させていただきます！



山口素弘さん

大会サポーター /名古屋グランパスエイト アカデミーダイレクター

開催前からスペシャルオリンピックスの活動を応援してきた名古屋グランパスの一員として、本大会が愛知県で盛大に開催されたことを嬉しく思います。私は2018年7月にシカゴで開催されたユニファイドフットボールカップの日本選手団のアンバサダーとして携わせていただきましたが、ユニファイドスポーツという取り組みから学ぶことが多く、指導者としての引き出しが増える素晴らしい機会になりました。これからも応援していきたいと思っています。



佐竹功年さん

大会サポーター /トヨタ自動車硬式野球部

開会式の聖火ランナーとして、また卓球競技にボランティアの一員として参加させていただきましたが、開会式では心の底から楽しんでいるアスリートの姿が、卓球競技では真剣に戦うアスリートの姿が大変印象に残っています。改めてスポーツの素晴らしさに触れる機会になり、本大会はかけがえない経験になりました。私が所属するトヨタ自動車硬式野球部はスペシャルオリンピックス日本の活動を応援していますが、この素晴らしい活動の輪がもっと広がるよう応援していきたいです！



高円宮久子妃殿下



林芳正 文部科学大臣



大村秀章 愛知県知事

開会式を盛り上げるため、応援にかけつけてくださった方々。上段左から、司会を務めてくださった平野裕加里さんと田中大貴さん。サンブラザ中野くんさん、ジェイムス・ヘイブンスさん。下段左から、あいち戦国姫隊、名古屋おもてなし武将隊®、チームしゃちほこの皆さん。



GLAY楽曲「YOUR SONG」が
スペシャルオリンピック日本公式応援ソングに！

YOUR SONG



日本を代表するロックバンド GLAYの楽曲「YOUR SONG」がスペシャルオリンピック日本の公式応援ソングに決定しました！本曲の作詞作曲をしたTERU様は愛知大会に駆け付け、開会式で「YOUR SONG」を披露、会場は熱狂に包まれました。

スペシャルオリンピック日本公式応援ソング

作詞：TERU
作曲：TERU

YOUR SONG

南風に誘われるまま特別な日が始まる
熱い眼差し君の輝き太陽の日差しになんか負けない

雨が降ったって 嵐になったって
上を向いてた日々
雲の切れ間に希望を重ね
さあ 行こう HEY

昨日の自分を超えて行け未来を切り開け！
誰にも負けない強さで！ Oh Oh Oh…
やれるさ やれると信じて君の名を叫ぶ
何度も声が枯れるまで Oh Oh Oh…
YOUR SONG

Oh Doo-bee Doo-wop

幼い頃 擦りむいた時の傷の痛みなんて覚えてなんかいないよね？

最悪な結果だってそれが自分だって
笑い飛ばせば OK
後悔を繰り返し心は強くなるから
さあ 行こう HEY

昨日の自分を超えて行け未来を切り開け！
誰にも負けない強さで！ Oh Oh Oh…
やれるさ やれると信じて君の名を叫ぶ
何度も声が枯れるまで Oh Oh Oh…
YOUR SONG

Oh Doo-bee Doo-wop

大会を支えてくださった ボランティアの方々

内・県外から延べ 3,801名の
ボランティアが参加！

大会運営や選手団サポートに
ご協力いただきアスリートたち
の今大会の活躍を支えてくだ
さいました！



トヨタ自動車株式会社

渡邊 華月さん
サッカー会場 DAL(※)

※ DAL(Delegation Assistant Liaisons)
チームに帯同してアスリートとコーチのサポート
をする業務。

今回、初のSOボランティア参加ということで、DALとしてサッカーチームに携わることができました。期間中は、アスリートの皆さんの笑顔に、常に元気をもらいました。いつもと違う環境の中で、いつも通りの力を発揮することが、どれだけ難しいことか、また、戦う瞬間に「立つ」までのたくさんの勇気を目の当たりにするたびに心が揺さぶられる思いでした。最後のお見送りの瞬間

にアスリートの1人が「私たちと一緒にいてくれてありがとう」と言ってくれ、このまっすぐな言葉によって、ボランティアに参加してよかったと心底感じることができました。私には、この貴重な経験で得た「炎」を次へ、繋げていく義務があると感じています。より多くの方へSOを認知してもらい、このような体験をしていただけたらと思います。今回の貴重な機会に心より感謝申し上げます。

ソニー生命保険株式会社

柏原 雄基さん
テニス会場 DAL

アスリートの皆さんが自分自身への挑戦をしている姿を間近で見て、ワクワクし気持ちが昂(たかぶ)りました。また練習に付き添い、試合前の集中する時間を共有し、仲間と一緒に応援をし、ハイタッチをし、皆で喜んで…そんな大切な時間を3日間共有できたことで、アスリート・コーチの皆さんと、とても大きな信頼関係を築くことができました。それはこの体験をきっかけとして、担当した岡山県に愛着

が湧いてくるほどでした。「ボランティアをすることでマイナスなことは一つもない」開催前に先輩に言われた一言を思い出し、「スポーツを観ることの高揚」と「人との繋がりを感じる信頼」の両方を体感できたことは、私自身の心の成長に繋がりました。後日、アスリートから「アブダビの世界大会への出場が決まった」と手紙を貰い感激しました。今後一人のファンとしてアスリートを応援していきます。

東京海上日動火災保険株式会社

高橋 里沙さん
競泳会場 ケータリング



山口県のアスリートに
いただいたコサージュ
(私の宝物です!)

社内のボランティア参加者約 130名を束ねる事務局として、約半年間かけて社内関係各所やSOの事務局の皆様と何度も打ち合わせを重ね、当日に備えました。大会の直前に大きな自然災害が発生する中で、大変な場面もありましたが、この日のために練習を重ねてきたアスリートのため、当日は“アスリートファースト”を合言葉に一致団結することができました。私はアスリート控室

にて活動していましたので、アスリートの皆さんに声をかけるとキラキラの笑顔で応えてくれて、多くの気づきと感動がありました。山口県の選手団アスリートから「お姉さん頑張ってるからあげる!」といった精巧な手作りのコサージュを胸につけてもらい、アスリートから元気をたくさんいただきました。「超える歓び」を感じたかけがえのない3日間となりました。これからも応援していきたいです。

リントツ株式会社

平松 明憲さん
ボウリング会場 ケータリング

ボランティアは今回が初めてであったため、務められるかどうか不安を抱きつつ会場へ向かいました。朝のミーティングでSO責任者より、アスリートが気持ちよく競技できるように自分達で何をすべきかを考えながら行動して欲しいとの話があり、会社組織とは違い、皆が平等で、マニュアルのないところをいかに行動するかということを学びました。自分の仕事は食事の準備、後片付けなど

が主で、最初はアスリートの皆さんとコミュニケーションがとれるかどうか不安な面もありましたが、挨拶やハイタッチをしたりして、最終的には選手から逆に元気をいただいたような気がします。また有森理事長や小塚崇彦さん、安藤美姫さんが会場に訪れたことも一層の励みになりました。今回の経験を活かし、今度は地元でのボランティアにも挑戦してみたいと思います。

名古屋学院大学 バドミントンサークル

江口 大河さん
バドミントン・バレーボール会場 競技補助

僕はこのスペシャルオリンピックスのボランティアに今回初めて参加しました。それまでスペシャルオリンピックスの存在すら知らず、どういったものかまるでわかっていませんでした。また障がいを持つ方達と接するのは初めてで、対応の仕方がわからず、始まるまで不安でいっぱいでした。しかし、直接交流をしてみても一人ひとりそれぞれの考え方があり、僕らと何ら違いはなく、何も

臆することはないなと思いました。話し方も曖昧な表現を避けるなどの工夫をすることで会話が続くようになり、楽しいと感じました。また、アスリートが安心して競技を行えるよう最大限の配慮をしたり、普段経験できないようなことをしたりなど、そういう細かい気遣いが何かを運営していくためには必要なことなのだと感じました。とても貴重な体験をさせてもらえた3日間でした。

愛知から生まれたスペシャルオリンピックスの輪

大会ロゴ 決定

開催県である愛知（AICHI）の A をモチーフに、アスリート、サポーター、観客など、すべての関係者の今大会にける熱い思いを、真っ赤な炎で表現。また、いくつかの赤を組み合わせることで、参加者の多様性をクローズアップしています。上へ上へと勢いよく燃え上がる様は、湧き上がるような意思や向上心のベクトルを示しています。



Special Olympics
Aichi2018
National Summer Games

超える喜び。

今大会を通じてこの大会に関わるすべての人が、それぞれに描く未来に向けて目の前にある目標や課題を「超え」、そこから得られるであろう「喜び」を手にしていただくことを願い、このスローガンに決定しました。

大会スローガン 決定

大会開催 記者発表

2017/1/19

「スペシャルオリンピックス 2018愛知」の大会認知度向上を図るため、名古屋市内にて記者発表を実施。この場で大会ロゴ、スローガンが初お披露目となり、ドリームサポーターの安藤美姫さん、小塚崇彦さん、平岡拓晃さんにも駆け付けていただきました。



採火式

2018/2/10

大会のシンボルとなる大会火を名古屋市内の熱田神宮より採火し、全国の地区組織に分火しました。

その後、全国の地区組織にて「Unified Relay トーチラン」が行われ、支援・協力の輪を広げながら、愛知大会は大きく育っていきました。



開催100日前 イベント

2018/6/14

大会開催の100日前に、中部国際空港で大会 PRの一環としてカウントダウンボードの除幕式を行いました。

ドリームサポーターの森理世さん、名古屋グランパスアカデミースカウトの中村直志さん、チームしゃほこさんにイベントを盛り上げていただきました。

開催1カ月前 記者発表

2018/8/14

「スペシャルオリンピックス 2018愛知」の大会開催を直前に控え、メディアの方々へ最後のPR。有森大会会長や大村秀章愛知県知事にご出席いただきました。また、ドリームサポーターの森理世さん、安藤美姫さん、小塚崇彦さん、大会サポーターの室伏由佳さんが勢揃い。大会ボランティアウェアを着用してもらいました。





スペシャルオリンピックス日本と B.LEAGUE Hope がパートナーシップ締結！ B.LEAGUE FINAL 2017-18 B.Hope Action Unified Sports Basketball Special Game

概要: スペシャルオリンピックス日本は公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ (B.LEAGUE)の社会的責任イニシアティブである「B.LEAGUE Hope」とユニファイドスポーツを通じたインクルージョン社会の実現を目指し、パートナーシップを締結しました！それを記念し、横浜アリーナにて開催された B.LEAGUE FINAL 2017-18 の試合前のコートでパートナーシップ調印式とユニファイドバスケットボールのスペシャルゲームを実施しました。



大河チェアマン(Bリーグ)と三井会長(SON)による協定合意書の交換が行われました。ユニファイドスポーツを通じた多様性ある社会の実現に向け、共にここから動き出します。

**知的障害のある人の“ために” (For U) ではなく、“ともに” (With U)。
「一緒ならなんだってできる」というメッセージを多くの観客に届けました！**



協力企業: ANYTIME FITNESS

※写真: 小塚崇彦さん着用

“障がい者スポーツの概念を超え、カッコよく。”
このテーマを表現するべく、エニタイムフィットネスには本ゲームオリジナルユニフォーム / Tシャツ / 選手入場映像などご提供いただきました。



日本代表が シカゴで躍動！ Special Olympics 50th Anniversary 2018年スペシャルオリンピックス ユニファイドフットボールカップ・シカゴ presented by TOYOTA

1968年にシカゴで開催した「第1回スペシャルオリンピックス国際大会」の50周年記念として、「2018年スペシャルオリンピックス ユニファイドフットボールカップ・シカゴ presented by TOYOTA」が7月17日(火)～21日(土)にかけて米国シカゴにて開催されました。スペシャルオリンピックス日本からは



地区組織・福島(SON・福島)に所属する選手が日本代表として11人制ユニファイドサッカー(男性)に出場し、ユニファイドスポーツ精神への深い理解を示したチームに贈られる“ユニファイド・チームメイト賞”を受賞しました。



協力企業



●トヨタ自動車株式会社

SO国際本部の大会スポンサーとして本大会をサポートされました。また、現地にもチームの応援に駆け付けてくださるなど、様々な分野でご支援・ご協力をいただきました。

●株式会社 名古屋グランパスエイト

日本選手団のパートナークラブとして、名古屋グランパスアカデミーダイレクターの山口素弘さんに日本選手団のアンバサダーに就任していただき、また選手団のユニフォームデザインや強化合宿のための施設提供にご協力いただきました。

●ミズノ株式会社

競技ユニフォームと日本選手団共通ウェアを製作していただきました。

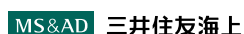
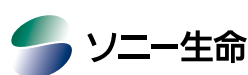
●日本航空株式会社

日本選手団とその関係者への渡航支援をしていただきました。



(株)CBCテレビ、ホシザキチャリティクラブ、あゆの風法律事務所、名古屋競馬(株)、(株)豊田自動織機、豊田通商(株)、アイシン精機(株)、名古屋学院大学、(株)ネスター、(株)ウッドフレンズ、学校法人愛知淑徳学園、マルハ電機(株)、愛知県信用金庫協会、大和ハウス工業(株)岡崎支店、名古屋鉄道(株)、東邦ガス(株)、名古屋トヨペット(株)、トヨタ輸送(株)、(株)太閤ビルディング、(株)スポーツマネジメント、ホンダロジコム(株)

公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 寄付・協賛企業団体一覧



■ナショナルパートナー

(株)ユニクロ、トヨタ自動車(株)、日本コカ・コーラ(株)、(株)AOI Pro.、ソフトバンク(株)、アシックスジャパン(株)、ソニー生命保険(株)、アシックスジャパン(株)、(一社)日本ライオンズ

■プレミアムスポンサー

日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)、日本航空(株)、三井住友海上火災保険(株)、エニタイムフィットネス、(株)スリーボンド、ブラザー工業(株)、テクノプロ・ホールディングス(株)

■フレンドシップスポンサー

(一社)日本フードサービス協会、(株)NTTドコモ、東京海上日動火災保険(株)、(株)三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行(株)、明治安田生命保険相互会社、(株)三井住友銀行、三井不動産(株)、三井物産(株)、日本生命保険相互会社、リシュモンジャパン(株)、SCSK(株)、(株)大林組、加賀電子(株)、(株)東京通信、(株)オニザキコーポレーション、新日本空調(株)、(株)イトーキ、スカイコート(株)、(株)ブラボーグループ

■助成金

スペシャルオリンピックス冬季世界大会長野記念資金、(一財)日本メイスン財団、全国生活協同組合連合会、全国労働者共済生活協同組合連合会、スペシャルオリンピックス国際本部、(独)日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成、(公財)森村豊明会、(公財)ヤマト福祉財団、マテルこども財団、横浜こどもスポーツ基金

■寄付・協賛

東京マラソンチャリティ、大阪マラソン組織委員会、ピーアークホールディングス(株)、AIGジャパン・ホールディングス(株)、(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー、リタジャパン(株)ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)、ウォルト・ディズニー・ジャパン社員有志(株)、三菱東京UFJ銀行社会貢献基金、海外酒販(株)、在日米商工会議所、イービーエスディリングリンスジャパン(株)、メリリルンチ日本証券(株)、ソフバンク(株)つながる募金、セコムチャリティオークション事務局、東京海上フィルハーモニックオーケストラ部、東京海上日動Share Happiness倶楽部、(株)CHINTA、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)日本財託、(株)フタバファーマ、(株)マッシー、エーザイエニオン、ブラザーズ(株)、日本オラクル(株)、(株)ローソン、富士ゼロックスアドバンステクノロジー(株)、虎ノ門積善会、(公社)日本ボウリング場協会、AGCセラミックス(株)、パイロットインターナショナル日本ディストリクト、共同カイテック(株)、UAセンセ、(株)ソニックジャパン、(株)S.D.B.B.、JR東労組、グロッセ・ジャパン(株)、(一財)明治神宮崇敬会、(一社)学習院校友会、(一財)三井報恩会、(一社)飯田エレクトロニクス協会、(特活)チャリティ・プラットフォーム、(一財)ジャパングキビング、I.R.M.アカデミー、森育子ダンススタジオ、ディー・エイチ・エル・ジャパン(株)、ディー・エイチ・エル・ジャパン(株)端数倶楽部、大同生命社会貢献の会、千葉県騎手会、Triathlon Boys&Girls、アメリカン・エキスプレス・インターナショナル、Inc.日本支社、チャリティ白衣ファッションショープロジェクト事務局、(株)PROFESSOR'S ROUN、杉野服飾大学、高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会、軽井沢チャリティー・コンサート実行委員会、国際ソロプチミスト敦賀、ロバート・ウォルターズ・ジャパン(株)、富士ゼロックス端数倶楽部、(株)ソーシャル・スパイス・カンパニー、映画「天心の譜」天草上映実行委員会、UBSグループ、UBS証券(株)、UBS銀行東京支店、UBSアセット・マネジメント(株)、伊那食品工業(株)、(株)トシ・コーポレーション、インフィリック(株)、(株)グッドヒル、(株)ビジネスパートナーズ、東京都立大田桜台高校生徒会、東京ワシントンウィメンズクラブ、(有)難波アソシエイツ、八王子東京パイロットクラブ、(株)スマイルズ、(株)ロジネットジャパン西日本、(株)かるみあ、(株)アップフロントワークス、(株)イデアインターナショナル、トヨタ輸送(株)、(株)あおぞら銀行、日本水産(株)(株)ゴールドウイン、ミズノ(株)、ヨネックスジャパン(株)、エムサービス(株)、日本オフィス・システム(株)、シービーセンター(株)、(株)システムファイブ、(有)濱田商事、中外製薬労働組合、(株)服部不動産、ステート・ストリート・ジャパン・CSP委員会、日赤兵庫県支部声の図書奉仕団はあもにいグループ、ブルデンシル生命保険(株)首都圏中央支社、ソリマチグループ有志一同、(特活)横浜スポーツアンドカルチャークラブ、ヨシダ印刷(株)、(株)スペクター・コミュニケーションズ、グリーンコープ生活協同組合ふくおか、有馬ロイヤルゴルフクラブ、読売新聞西部本社、東京海上日動海上業務部、アンカー・シップ・インベストメント(株)、小野薬品労働組合、フィギュアスケーターの集い、ラッセル・インベストメント(株)、(株)プロスティ、東京海上日動火災保険(株)資産運用部、東京海上日動火災保険(株)東海損害1部、東京海上日動火災保険(株)九州自動車営業部、東京本場製材協同組合、三菱UFJインフォメーションテクノロジー(株)、(株)パソナハートフル、東洋大学社会学部志村ゼミ、(一社)日本障害者歯科学会、さつき商事(株)、(株)市川組、(医)塚田こども医院、熊本血管外科クリニック、日本化学エネルギー産業労働組合連合会、すみだ北斎美術館新築工事協力会社会安全衛生協会、(株)ファンコミュニケーションズ、(株)高砂コンピュータサービス、ヤワラ(株)、(株)En女医会、(株)爽健グローバル 笑顔道整骨院グループ、シオノギ社会貢献支援会、(一財)東京マラソン財団、アディダス ジャパン(株)、(福)東京コロニー従業員等有志一同、(株)テクノプロ・スマイル、(一財)ピーくん財団、(株)ロクマル、東京海上アセットマネジメント有志一同、マッコーリーキャピタル証券(株)、東京新橋ライオンズクラブ、(株)テラスホールディングス、パイロットインターナショナル日本ディストリクト、フェリング・ファーマ(株)、(有)オフィスFirst、大和商工(株)、(株)東舞トータルサービス、(株)東京舞台照明、(株)東京舞台照明ホールディングス、(株)エムエヌスタッフ、(株)オフィスココ、(株)コムニシティ ツーリズム デザイン、エイチエムディティ(株)、日本ビジネスシステムズ(株)、インフィニオンテクノロジーーズジャパン(株)、(株)中日新聞社、(株)ミミット・ホールディングス、(株)あしずと阪急阪神、大和電気商工(株)、国際ソロプチミスト名古屋、tottoco*とっとこぼし、(株)ドーム、アコム(株)、(特活)雨煙別学校、(株)ジェファグルメカード、Tokyo Dodgeball Friendship Club、ダイキン工業労働組合、NIPPON ITチャリティー駅伝実行委員会、ライフール ソーシャル ファンディング、(株)TRUNK、兵庫開発(株)、相模原パークレーンズ、JINGU STADIUM YOGA2018 会場募金、国際ソロプチミスト日本中央ベンチャーリジョン、ライオンズクラブ国際協会 330複合地区ガバナー協議会、(株)アライヴン、(株)シャ・ラ・カンパニーワイズメンズクラブ国際協会 第21回西日本区大会実行委員会、(医)神尾記念病院、東京山王ロータリークラブ、ライオンズクラブ国際財団、(一社)TUコモンズ夢のアトリエ

■SOメイト

SOMPO企業保険金サポート(株)、損保ジャパン日本興亜キャリアビューロー(株)、(株)ワークスアプリケーションズ、(株)ビルド、マグナス(株)、三井嬭子、廣澤彰、(株)双龍工務店、(株)オーゼン、(株)オオバ工務店、富士ゼロックス福島(株)、福島トヨペット(株)、(有)アサカサービスセンター、(医)安積保養園あさかホスピタル、小川工業(株)、(有)ワクワーク、神奈川県ボウリング場協会、富士ゼロックス(株)、富士ゼロックス端数倶楽部、大安興業(株)、横浜ゴム(株)、日本発条(株)、(株)ア・ファクトリー、横浜北ロータリークラブ、鶴岡八幡宮、(株)ファンケル、ファンケルグループもっと何かできるはず基金、藤沢ロータリークラブ、茶美の会茶道部、セイコーエプソン(株)、富士ゼロックス長野(株)、(株)ティアリア、JA長野県グループ、長野大学後援会、ホクト(株)、丸美屋食品工業(株)、(株)シーディーホールディングス、国際ソロプチミスト長野一みず、信濃毎日新聞社、(株)新興製作所、佐久ライオンズクラブ、(一社)新潟県産業廃棄物協会、リントツ(株)、(株)加藤自動車相談所、ヒューマンボランティア協会、スペシャルオリンピックス日本・徳島支援チャリティーゴルフコンペ実行委員会、(株)フルコン、阿波総合開発(株)徳島カントリー倶楽部、(株)徳島銀行、SO尼崎プログラムを支える会、甲子園ロータリークラブ、JAWKインターナショナル、神戸社会福祉協議会、神戸あじさいライオンズクラブ、東亜信託(株)、喜多敬、国際ソロプチミスト京都、開元紙料(株)、京都ロータリークラブ、京都ライオンズクラブ、(医)啓信会、(一社)茶道裏千家淡交会、茶道裏千家淡交会京都四青年部連合会、安田政浩、浮田礼子、国際ソロプチミスト京都・弥生、鳥取信用金庫、山岸ルツ子ピアノリサイタル実行委員会、(株)戸信、富士ゼロックス栃木(株)、あずき整骨院、毎日興業(株)、(株)関東パイプ技研、スカイコート(株)、(株)天、(株)力屋、北翔会、岩館電気(株)、岩手トヨペット(株)、オーエム通商(株)、(株)高光建設、(株)城山、トーヤク(株)、(医)社回善仁会 就労支援事業所 One Heart、万田静素(株)、(株)八天堂、三谷建設(株)、広島ロイヤルライオンズクラブ、(株)今川工務店、埼玉レジャー産業(株)、ユニオンゴルフクラブ、JAIFA神奈川県協会、東日本電信電話(株)神奈川事業部、関東化成工業(株)、(株)トーレ、竹虎ホールディングス(株)、(株)みずすコーポレーション、富士ゼロックス兵庫(株)、芦屋東ライオンズクラブ、猪名野ライオンズクラブ、(有)丹波わらしべ屋、SON・徳島 ファミリー委員会、新日本製薬(株)、九州電力(株)、(一社)福岡市医師会、グリーンコープ生活協同組合ふくおか、(有)ネビック、(株)ジェイアイシー、(有)東北観光ソリスト、FWD富士生命保険(株)、株式会社 檜家、札幌西北ロータリークラブ、北海道税理士会、(一社)MDRT日本会、札幌アカシヤライオンズクラブ、札幌南ロータリークラブ、弘果弘前中央青果(株)、国際奉仕団キリウス青森、みちのくコカ・コーラボトリング(株)、吉田等明、(株)トヨタレンタリース岩手、(有)KJOIZUMI、(学)都山学院ケイセンビジネス公務員カレッジ、ういはい内科クリニック、藤田幸希、宇都宮北ロータリークラブ、富士ゼロックス栃木端数倶楽部、栃木事業調理師会、ホシヤキャリティアーク(株)ランドマーク、(一社)神奈川県教育福祉振興会、(公財)JAIFA、(株)咲顔本舗、(公社)程ヶ谷基金、石川均、(株)アイネット、(株)ペンハウス、(医)鶴純会 小林内科医院、(一財)神奈川県教育福祉振興会、(株)本久、(株)竹内製作所、信越放送(株)、長野ダイハツ販売(株)、マルコム(株)、(株)八十二銀行、北酸(株)、(医)蒼会 おくむらクリニック、(医)啓信会 京都きつ川病院、国際ソロプチミスト京都一葵、京都洛中ロータリークラブ、(株)リ・アルター、岡田光司、広島もみじライオンズクラブ、(有)大田金属、高松東ロータリー、香川県建設業協会、(一社)香川県建設業協会、ネットヨタ高松(株)、(株)合田工務店、讃光工業(株)、香川トヨペット(株)、香川トヨベトリース(株)、(株)ニッシン、(株)グランド商事、香川トヨタ自動車(株)、百十四銀行 田町、(株)レクザム、(株)メディアミックス、フソウ、三信産業(株)、(株)フジレンタカー、(医)桑江皮膚科医院、(一社)沖縄県軍用地等地主会連合会、琉球ベイント(株)、ジック(株)

■協力

(株)フォート・キシモト、(株)RIGHTS.、(株)マック、(株)アムラックスヨタ、(株)トヨタレンタリース、東京日本バルーン協会、(有)岩村包装企画、エールラン実行委員会、SONサポーター丸の内女子会、(株)アイデアレント(篠塚正典)、(株)ライゾマティクス、(株)ジャパン通信社、(有)ブルーフィールド、(株)オズマビジュアル、トライ・アングル企画、ルーデンス(田川正一)、(株)ディレクターズシステム、志堂晃一、宮尾純平、En女医会、中野裕男、Morning☆Diamonds、TOMOKO KOJIMA CHEERDANCE ACADEMY、(公財)日本体育協会、日本スポーツマンクラブ、デルタ航空、クーパー・コーチング・ジャパン、富士ゼロックス東京(株)、セイコーエプソン(株)松本事業所、(株)セールスフォース・ドットコム、第一貨物(株)、エフピコ物流(株)、(株)富士通東北システムズ、(有)サポートプランニング、(株)ステディ スタディ、Chloe青山店、(株)エスイーエス、(株)ワンウェイ、SCSKグループ社会貢献活動クラブ Earth One、キャンノンマーケティングジャパン(株)、(株)城山、セビオ(株)、あさかホスピタルグループ、(株)ティーズフューチャー、(株)スポーツワン、日清ファルマ(株)、(株)知足堂、(株)インバクトレーディング、(株)明治、Chloe、(株)リッシン、gooddo(株)、笑顔道整骨院グループ、LEGEND STAR Co. Ltd.、(株)ファンコミュニケーションズ、(株)ライフリンク、フィジオコントロールジャパン(株)、旭化成ゾールメディカル(株)、(株)サンライズジャパン、横浜市消防局、横浜市消防音楽隊、日本空港ビルディング(株)、(株)名古屋グランパスエイト、(株)セレッソ大阪、トヨタアルパルク東京(株)、(公社)ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ、東洋大学、JINGU STADIUM NIGHT YOGA事務局、(公社)日本プロサッカーリーグ、WWE、(株)ラバーソウル、ミズノ(株)、(特非)ニッポンランナース、フクダ電子(株)、ASICS CONNECTION TOKYO、山下泰裕、王貞治、原辰徳、北澤豪、中田英寿、森島寛晃、松浦亜弥、森理世、萩原美樹子、堀尾正明、小林研一郎、為末大、井上康生、国枝慎吾、宇津木妙子、小谷実可子、杉山愛、荒川静香、SHIHO、有働由美子、上野由岐子、柴田亜衣、水島寿恵、森田智己、久保田智子、西田敏行、名取裕子、和合亮一、アポロ・アントン・オーノ、吉永小百合、町亞聖、羽岡将一、唐橋ユミ、小島智子、金哲彦、荻原次晴、山本ゆうじ、エリック・ワイナイナ、山田玲奈、三宅宏実、三宅義行、藤井彩子、中本健太郎、秋山浩志、浦田典明、奥田智子、富田薫、生田裕佳、松本眞理子、君原健二、小嶋由水、佐藤真海、MISIA、安藤美姫、今井遥、小野沢裕子、おおご菜々、堀敏彦、近藤文靖、鈴木秀喜、五十嵐利恵、阿部雅司、平岡拓晃、小塚崇彦、岡崎朋美、田村亮、永島昭浩、NON STYLE、八木真澄(サバパン)、なかやまきんに君、大西ライオン、太田博久(ジャングルポケット)、おたけ(ジャングルポケット)、ロッキー(野性爆弾)、木村卓寛(天竺)、げんき〜ず、井田(イダリアン)、玉城将太(リッパボーイ)、宮本恒靖、相馬崇人、近藤兵吾、永井義文、ミルクボーイ、スマイル、クロスバー直撃、西田美和、勅使川原郁恵、中村健人、8.6秒バズーカー、インポッシブル、くまだまこと、バッドボーイズ、ライス、福澤順、岡本篤志、木村貴彦、フルーツボンチ・亘、マンドロウ、パンサー、菅、どりあんず、ニブンゴリ・宮地、バク川崎バイク、ムトンボ・ディケンベ、学天即、あべこじ、山口素弘、中村直志、勝矢寿延、藤本淳吾、タナからイケダ、レイチェル・チャン、村井満、佐竹功年、チームしゃちほこ、TERU(GLAY)、サンブラザ中野くん、ジェイムス・ヘイブンス、田中大貴、平野裕加里、あいち戦国姫嫁&武将隊

■個人寄付

村上雅則、細川佳代子、三井嬭子、川上優子、小林廣久、岩崎眞挺、高石好志、加藤武文、萱間隆夫、小林益久、山口計子、横川浩、水町真理子、杉本憲一郎、木太久茂、斎間誠司、藤本京子、藤本純子、近衛南子、山川哲司、後藤由美、澤田哲也、山上和則、柴島肖吉、谷口美智代、東京マラソン2015 SONチャリティアランナーの皆様、SON主催2015年SONチャリティーオークショーご参加の皆様、SON主催第5回エールランご参加の皆様、東京マラソン2016 SONチャリティアランナーの皆様、SON主催第6回エールランご参加の皆様、SON主催参加費が寄付になる2017年SONチャリティーオークショーご参加の皆様、東京マラソン2017 SONチャリティアランナーの皆様、SON主催第7回エールランご参加の皆様、東京マラソン2018 SONチャリティアランナーの皆様



2019年 スペシャルオリンピックス夏季世界大会 アブダビ

2019年3月14日～3月21日にかけてアラブ首長国連邦の首都アブダビで開催される「2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アブダビ」へ日本選手団105名を派遣します。
「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」に参加したアスリートの中から選考された日本選手団が世界の舞台へ挑戦します。

大会名称…………… 2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アブダビ
開催時期…………… 2019年3月12日～3月21日
ホストタウンプログラム…3月8日～3月11日
競技…………… 3月12日～21日（12日～13日ディビジョニング）
開会式…………… 3月14日（会場：Zayed Sports City Stadium）
閉会式…………… 3月21日（会場：Hazza bin Zayed Stadium）
開催地…………… アラブ首長国連邦（アブダビ）
参加者…………… 170の国・地域が参加
アスリート：7,000名 ファミリー：6,000名 ボランティア：20,000名
メディア：2,000名 ゲスト：4,000名
日本選手団 …… 105名
実施競技…………… 24競技（日本選手団は11競技に派遣）

スペシャルオリンピックス日本 2017年度 活動内容

アスリート/パートナー ATHLETES/PARTNER

アスリート数

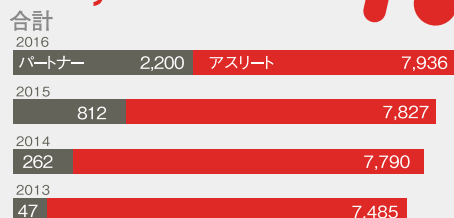
8,250

ユニファイドパートナー

1,914

合計

10,164



ユニファイドスポーツ UNIFIED SPORTS

チームメイト合計

3,018

ユニファイドアスリート

1,104

ユニファイドパートナー

1,914

実施地区 30

前年度比

- 495

- 14%

ヤングアスリート YOUNG ATHLETE

実施地区 8

69

大会・競技会数 COMPETITIONS

230

ユニファイド競技数

39



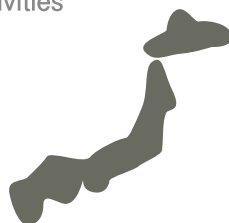
国内活動 Domestic activities

都道府県

47

市区町村

293



アスリートリーダーシップ ATHLETES LEADERSHIP

アスリートリーダー数

126

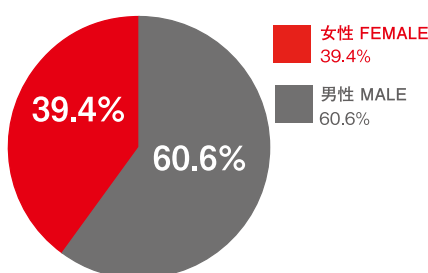
前年度比

-53%

-144



アスリート男女比 ATHLETES GENDER



ボランティア数 VOLUNTEERS

9,769

コーチ数

5,216

ユースボランティア数

2,382



学校連携 school collaboration

ユニファイド活動校数

115

ユースリーダー数 (12-25歳)

23

ユースリーダー数 (12-25歳)

216

前年度比
+6.48%
+7



ファミリーリーダーシップ FAMILY LEADERSHIP

ファミリーリーダー数

868

登録ファミリー数

10,158

前年度比

+31.91%

+210



アスリート年齢比 ATHLETES AGE

